

飲水思源

町長 松岡市郎

板谷重徳氏のホクレン副会長就任を祝う

東川町は開拓以来120年という節目の年を迎えているが、このおめでたい年に慶事が重なった。それはJ A H Uがしかわの板谷重徳前組合長がホクレンの副会長に就任したことである。

120年の歴史の中で、町民が北海道をカバールする大きな団体などの常勤役員に就任するのは初めてのことであろう。この要職就任を心からお祝いするとともに、北海道の稲作農業を、未来に向かって夢と希望に満ちた誇りをもてる産業として一層発展させてくれることを期待したい。

アメリカ合衆国では、苦勞をしながら情熱を持って立身出世、夢を実現させて成功した人を指して、よくアメリカンドリームと呼ぶ。「奴隷解放の父」といわれるリンカーン大統領はその代表格である。苦しい生活の中から苦難を乗り越え、反奴隷制を掲げて大統領に就任した。徳を備えた人物像として描かれている。

日本では昭和30年代、テレビの普及によってプロ野球選手、長嶋茂雄の活躍が放映され、彼はスーパースターになっていった。これは日本型ドリームの一つであると思う。

東川町の板谷氏もアメリカ流に言えば

アメリカンドリーム、日本流に言えば「スーパースター（農業者）」と言えるのではないか。

昭和30年代後半から同40年代は、戦後の米増産農業が生産抑制の一大転換期を迎えた時代である。親から農地を分けてもらって独立する、といういわゆる分家制の終わりのころでもある。両親は1964（昭和39）年、旭川市旭神町から東川町へ移住して農業を営んだ。

板谷氏は「昭和44年の結婚の時に親から2・5ヘクタールの水田と家を建ててもらって分家した」と言う。東川では最後の分家農業者ではないだろうか。

それから約半世紀。激変する農業情勢の中で、経営面積は40倍、北海道を先導する農業者となったが、よく「妻や家族、地域のおじさん、おばさん、仲間を支えられた」と話す。今は息子さんと夫妻が後を継いでいる。旧態依然とした協同活動に一時反旗を翻し、生産したお米を一律も農協へ出荷しないことがあったように、反骨精神も強い。これからは、今まで培ってきた「思い（ビジョン）」を表現する立場となる。牛歩精神で実現に向けてリーダーシップの発揮に期待して止まない。

憂いなき街（一般書）

佐々木謙：著 角川春樹事務所：刊



「サッポロ・シティ・ジャズ」でにぎわい始めた札幌。機動捜査隊の津久井卓は、市内で起きた強盗事件を追っていた。当番明けの夜、立ち寄ったバーで出会ったピアニストの安西奈津美と急速に仲を深める。そんな時、中島公園近くの池で女性の死体が見つかった。捜査を進める津久井は、奈津美による犯行ではないかという疑惑を深めていく。刑事課の佐伯宏一警部補らに助けを求め、裏捜査を始める。

ブルーノのしあわせガイド（DVD 映画）

オデッサ・エンタテインメント：発売



ローマの街でゴーストライターの仕事をしながら、その合間に補習塾をしているブルーノ。ある日、補習塾に来ている15歳の少年ルカの母親が、仕事で海外に行く間ルカと同居してほしい、と頼んでくる。ブルーノとルカの母親は、実は15年前に一晚だけ過ごした仲で、ルカはその時の子供だった。年齢も生きてきた環境も違う二人の触れ合いと成長を描くじんわり温かい物語。（95分）

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>



ラモーゼ プリンス・イン・エグザイル 上下巻（児童書）

キャロル・ウィルキンソン：著 くもん出版：刊



王子ラモーゼは、父王の後妻である現王妃一派の陰謀によって暗殺されかける。宮殿を脱出したラモーゼは書記の弟子として密かに生き延び、父王の後継者として宮殿に戻る機会をうかがうのだった。彼は、果たしてファラオの後継者として宮殿に戻ることができるのか!? 古代エジプトを舞台にしたアドベンチャー・roman。